

「ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ」の使い方

最後に感想を
書くことができ
る裏表紙

ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ

WELCOME TO
OTARU CITY
MUSEUM OF ART,
OTARU LITERARY
MUSEUM

ようこそ 市立小樽美術館・市立小樽文学館へ

まとめ

美術館・文学館はどうでしたか？
また、遊びに来てください。ありがとうございました。

美術館・文学館ってどんなところだった？

※ 感想をかいてみよう。

お気に入りの作品を教えてください！

※ 作品名・作家名

気になる作家や作品を見つけたら、ウェブサイトや本でもっと調べたり、友達に紹介したりしてみましょう。
他のまちの美術館・文学館にも行って、小樽と同じところやちがうところ、お気に入りの作品を見つけてみましょう。

市立小樽美術館・市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5
TEL 0154-54-0091(奥)
TEL 0154-57-2380(本)

SCHOOL _____ CLASS _____ /

NAME _____

スタンプ欄で
来館チェック
ができます。

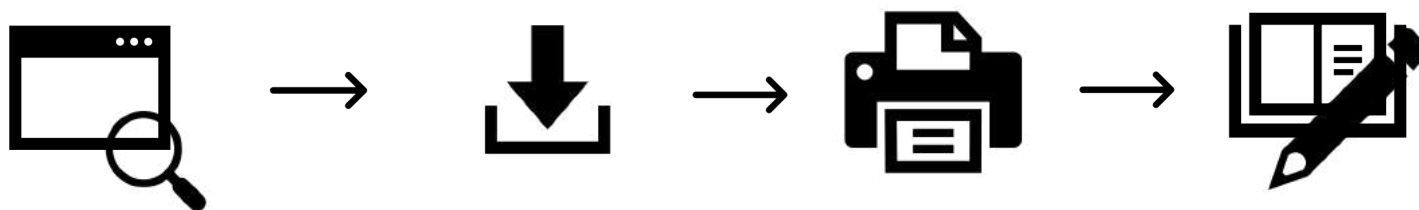
「ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ」を利用して、美術館・文学館を学校で利用してみませんか？

北海道の玄関口として繁栄を謳歌した小樽は、豊かな経済力と外国文化の影響を背景に、早くから芸術文化が発展しました。

また、美術館・文学館が面する旧銀行街は明治～昭和の様々の建築作品が立ち並ぶ地域であり、美術館・文学館の旧小樽貯金局の建物は、初期モダニズム建築の重要な作品です。

市立小樽美術館・市立小樽文学館は、展示を通して北海道ゆかりの芸術家・作家を楽しく知ることができるミュージアムです。本ガイドブックに取り組むことで、小樽での研修・見学が充実したものになります。特に自主研修の事前準備や、長期休みの美術・国語の課題に最適です。

このガイドブックはWEBで 閲覧・印刷することができます



「市立小樽美術館」で検索し、「市立小樽美術館」のWEBサイトにアクセス。

「教育普及・学校連携事業」のページから「ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ」をダウンロード。

学校、またはご家庭のプリンターでB4またはA3の用紙に印刷。

※A4だと文字が少し小さくなります

各自または授業で取り組んでから美術館を見学する。

※小樽市内の学校の皆さんへ

→令和3年度より、市内版「ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ」を、小樽市内のすべての中学1年生分を各学校に配布しています。追加で必要な場合もお気軽に小樽美術館までお問い合わせください。

おすすめの使い方と手順

「ようこそ市立小樽美術館・市立小樽文学館へ」は、美術館・文学館を見学する際の「事前学習～来館～まとめ」で一貫して使えるガイドブックです。

特に来館前に取り組むことで、短時間の見学でも十分に楽しむことができます。

事前学習

- 授業で事前に鑑賞のポイントや美術館のマナーを学ぶ
- 友達と一緒に話し合いながら自分のペースで来館の準備がきでる

来 館

- 自主研修や長期休みの課題に活用
- ポイントは事前に押さえてあるので短時間でも充実した見学に

まとめ

- 来館時に記入した部分をもとに振り返りやまとめができる
- 感想や心に残った作品を発表することで鑑賞の授業にも対応

さっそく、次のページから内容を紹介します！

1-2 頁

美術館・文学館ってどんな場所？



小樽の美術館・文学館には
どんな作品や資料があるのかな？
ワクワクドキドキ
すてきな出会いが
あなたを待っています

市立小樽美術館・文学館って
どんなところだろう
これば皆さんと一緒に
小樽の美術館と文学館について
考えてみましょう

こんにちは！
美術館・文学館を案内する
山田といいます。どうぞよろしく！



美術館・文学館に行く前に考えよう。
美術館・文学館にいった後、行った後に考えよう。



■ OTARU CITY MUSEUM OF ART / OTARU LITERARY MUSEUM

美術館・文学館ってどんなところ？

市立小樽美術館・市立小樽文学館ってどんなところだろう。
行ったことがある人も、ない人も、考えてみよう！



まず、美術館や文学館に行った事がありますか？

ある or ない



わたしが知ってる美術館・文学館は…
※ 知っても行ったことがない美術館・文学館を書いてみよう



じゃあ、美術館や文学館ってどんなイメージ？

※ 行ったことがある人も、ない人も書いてみよう



POINT

美術館・文学館のマナーは「4つ」です。
「1. 走らない」「2. さわらない」
「3. 大声を出さない」「4. 筆記用具は鉛筆で」です！

それでは、まずは建物について紹介します！

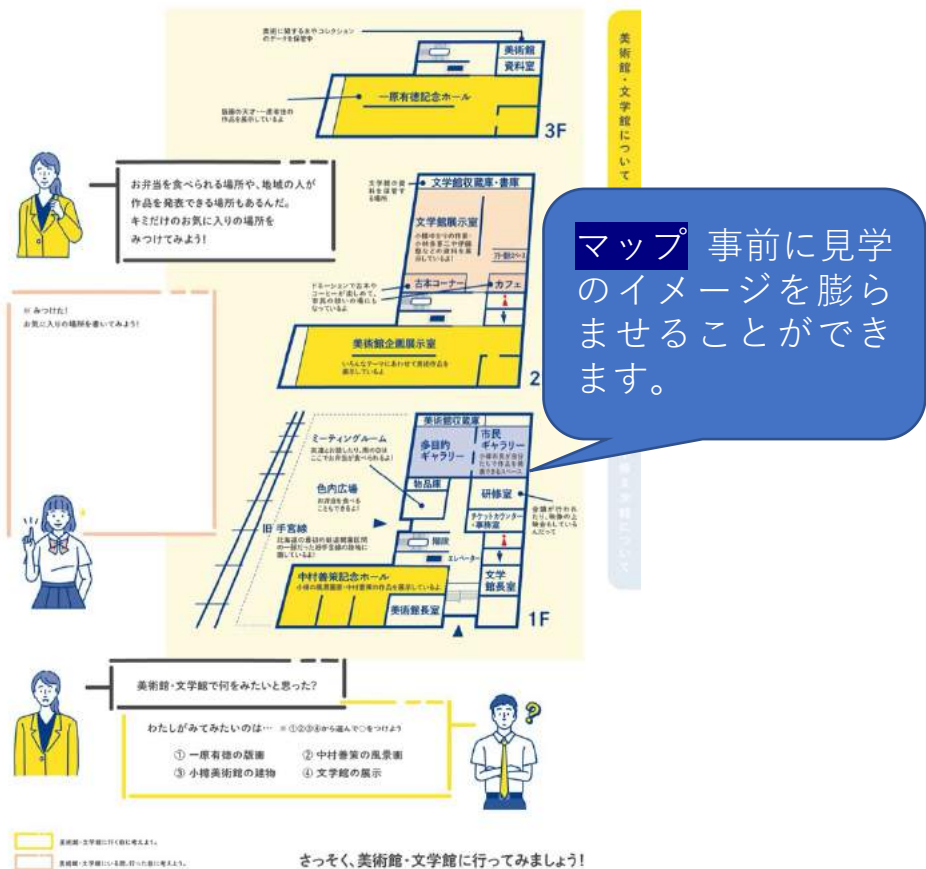
美術館・文学館って
どんなところ？ 経
験の有無に身近にあ
るミュージアムがど
んな場所か話し合っ
てみる

マナー紹介 初めて
の美術館・文学館で
も安心して美術鑑賞
を楽しむことができ
ます。

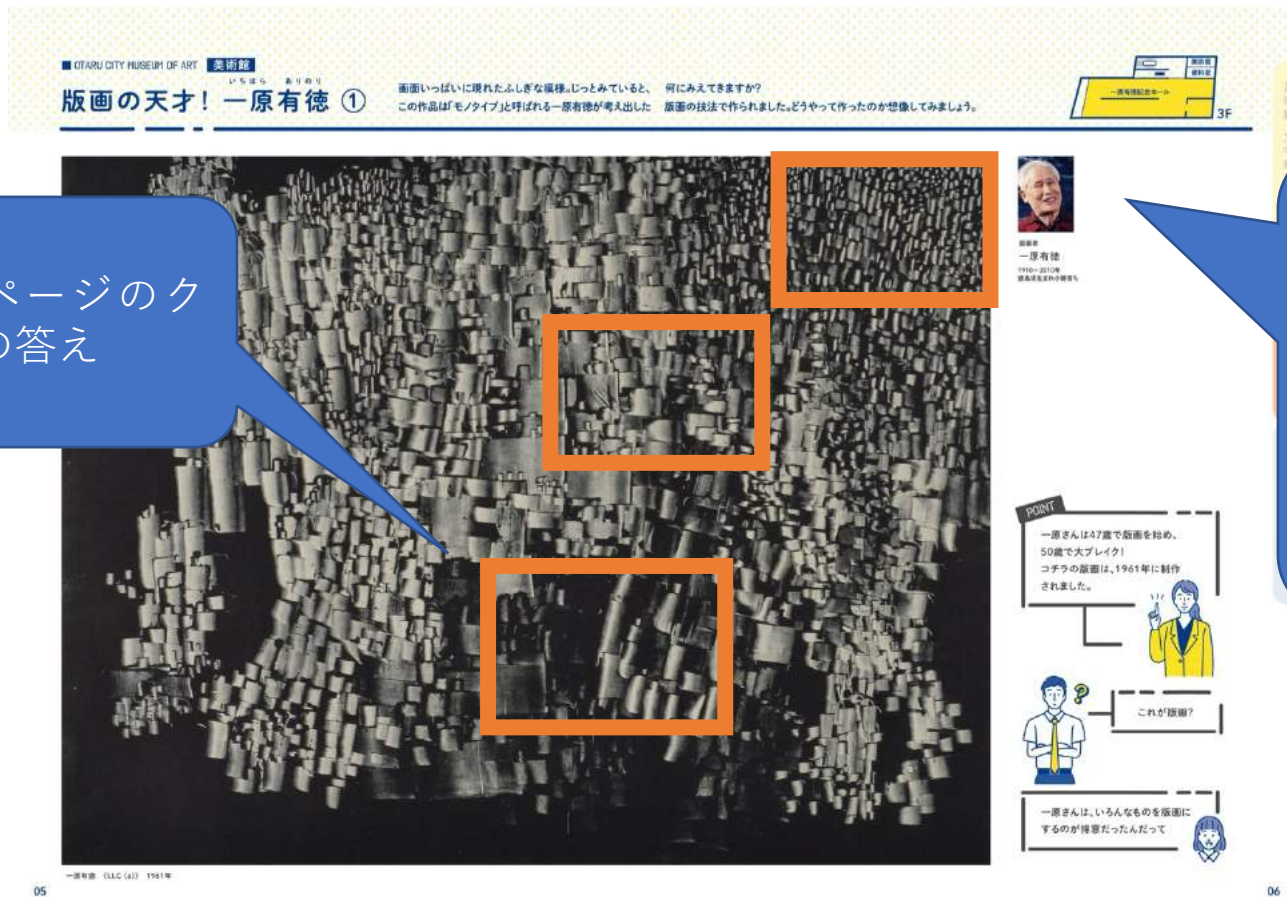
3-4 頁
建築紹介 × 館内マップ

旧貯金局は初期モダニズム建築の重要な作品。モダニズム建築とは「合理的」「機能的」な建築のこと。旧銀行街にある他の時代の建築と比較すると、その特徴がわかりやすくなります。

事前に見つけた建築
の特徴と、実際に訪
れて気がついた特徴
の比較ができます。



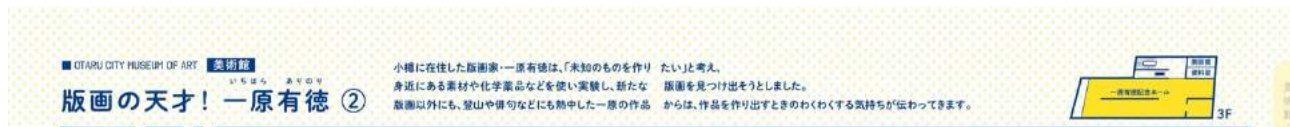
5-6 頁 一原有徳 × 現代版画①



一原有徳は小樽に住みながら世界的に活躍した版画家。貯金局に勤めるサラリーマンだった47歳で版画を始めてから、モノタイプ、腐食版をメインに版画の概念を広げ、版画の鬼才と呼ばれました。

7-8 頁

一原有徳 × 現代版画②



初見ではかなり難しいクイズですが、一原有徳の特有のマチエールや筆跡をじっくり見ることに繋がります

版にインク塗り、スクレイパー(ヘラ)でこそげとった痕を紙に写しとる一原独自のモノタイプ技法は一原が1957年に見つけ出しました。

一原さんの作品をよくみて見つけてみよう！

※ 画面ページ中央の枠の中に写すよう。

★ レベル1
目の名前を
よーく見てみよう。

★★ レベル2
ちよっと難しいね。

★★★ レベル3
なかなか難しいよ、
わかるかな？

この作品どうやって作ったと思う？
ヒントは、これ、何かに似てない？

わかった！カレライスを食べ終わったあとのお面に似てる！
なんちゃって！

いいところに気が付いたね！

※ ①②③から順番に写すよう。

- ① 紙の上でインクのついた乾電池をこがした。
- ② 彫刻刀でひたすら水をこまかくけずった。
- ③ インクのついた紙にヘラであとをつけて紙に写しとった。

一原さんの作品、他にはこんなものもあるよ。

小樽美術館には、一原さんの作品が1000点以上あります。

▶《炎》1976年
金属を錆びさせたり腐らせたりしたものにインクを塗って紙に貼り取る「腐蝕版」という技法で作られた作品。金属と薬品の組み合わせや、腐蝕させる時間や回数によって変わる「質感」を紙に写している。

美術館の外でも一原さんの作品を探してみよう。

◀《炎》1984年 (小樽公園内)
小樽公園に設置されているモニュメント作品。作った版を作品にしまうこともあった一原さんは、「自然の中にある人工物」という対照的な関係も「版画と似ている」と考えていた。

一原さんは色んなものを版画にしてみようから、「版画の鬼才」と呼ばれていたんだ。

学校でやったことがある木版画や紙版画以外にも、版画には色んな表現方法があるんだね！
他にはどんなものが版画にできるか考えてみようかな。

小樽公園内には、《炎》だけでなく善策が絵を描いた場所や石川啄木歌碑もあり、研修スポットに最適です。一原の作品は全国的美術館だけでなく、小樽市内の病院やお寺、真狩村、札幌ドームなどにもあり、実は多くの人が一度は目にしたことがあります。

3階の「一原有徳記念ホール」で確かめてみよう！

9-10頁

中村善策 × 対話型美術鑑賞①

■ UTARU CITY MUSEUM OF ART 美術館

小樽の風景画家! 中村善策 ①

小樽の風景を愛し、たくさん描いた中村善策。
明るい色使いやいきいきとした構図は、実物と そっくりではないのに、その場所に行ったような気持ちになります。
善策は、実際の風景を目の前に見ながら描く事 を大切にしていました。

中村善策
1907-1960年
小樽生まれ

POINT
善策さんは小樽の風景を描くのが
大好きだったんだ!
この作品は、1960年に描かれた
んだよ。

まずはじっくり見てみよう!



中村善策 (風景) 1960年

まずはじっくり
見る時間を取っ
てみましょう
(1~5分程度)

中村善策は小樽出身の風景画家。山上から港を見下ろす小樽らしい風景や生き生きとした構図、鮮やかな色彩が特徴です。本作は、花園の小樽公園から描かれたもの。描かれた風景を見つけにいくこともできます。

小樽は絵になる風景が多く、小樽美術館のコレクションも他館と比べると風景画が多くなっています。

1 1 - 1 2 頁

中村善策 × 対話型美術鑑賞②

対話型鑑賞では、グループや友達同士の複数人で話し合いながら、鑑賞を進めます。美術鑑賞は明確な正解はないため、「なぜそう思った?」「もっと意見がある人はいる?」を繰り返しながら話し合うのがポイントです。グループ内で話を振ったりまとめたりする人がいるとスムーズです。クラス全体で行うときは先生がその役目に最適です。

■ OTARU CITY MUSEUM OF ART 美術館

小樽の風景画家! 中村善策 ②

絵の中では、どんなことが起きているかな? 友達と話し合ってみよう。
友達の見聞を聞くと、作品の感じ方や見方が広がっていくことがあります。まずは、あなた自身が感じたことを、言葉にしてみましょう。

1F

絵画のなかの話をときあかせ!

前のページはこの絵について話し合ってみよう。
※ 絵の中に隠されたヒントに気づいたら、みんなで話し合ってみよう。

★この絵の季節はいつだと思おう?

★時間は何時くらいかな?

★なぜこの場所を描こうと思ったのかな?

★この絵からはどんな音が聞こえてきそうかな?

★この絵を描いているとき、善策さんはどんなことを考えていたかな?

★そのほかにもこの絵のなかで気になったところはある?

自由に考えていいの?じゃあ、えっと...

話し合いをしてみたら、思っただけのオリジナルのタイトルを想像してみよう!

※考えたタイトルを書こう

自らその絵の特徴を考え、オリジナルのタイトルをつけて友達と比較しあうと、新たな視点に気がつくことができます。

POINT

善策さんの作品、他にこんなものもあるよ。

善策さんは「同じ場所に立(すわ)っても、新たな感覚に打ちふるえている」と言い、海や空をさまざまな表情で描きました。

▶《赤岩絶壁》1963年

小樽市民会館の大ホールの屋根(どんちょう)になっている作品。たかさんの色を使って、絶壁のさめめきをあわらしている。どんな色が使われているか探してみよう。

本物だからこそその迫力や色鮮やかさは、美術館ならではの体験です。

美術館では、実際の絵の真実を話し合ってみよう! 最初のイメージと変わったところもあるかな?

※イメージと変わったところを書こう

13-14頁 石川啄木×近代短歌

3か所とも小樽駅から比較的アクセスしやすい場所にあるため、研修で3か所を周ることも可能です。小樽公園内には、一原有徳の《炎》が、水天宮には同じく一原がデザインした河邨文一郎詩碑があります。

石川啄木は初期には非常に美文調で難しい言葉づかいを好んでいました。彼が、現在よく知られているわかりやすく親しみやすい短歌を作ったのは東京に移り住んでからです。その作風の変化には北海道時代の様々な人生経験があったからだと言われています。

■ OTARU LITERARY MUSEUM 文学館

明治時代の代表的な歌人・石川啄木は、21歳で放浪の 岩手県浪江村を離れ、新たな人生を模し求めて、約1年間、北海道の函館・札幌・小樽・釧路をめぐりました。小樽に滞在したのは115日間。その時の事を題材にした 歌が、彼の歌集『一握の砂』に22首入っています。

「文学館」について

市立小樽文学館

2F

文学館の字面通りです。よろしくお願ひします。

POINT

歌人 石川啄木
1896 - 1912
岩手県浪江村出身
父は北海道函館市で

啄木は、その頃小樽に出来たばかりの新聞社（小樽日報社）で、新聞記者として活躍するために小樽にやって来たんだよ。

小樽には、啄木の歌碑が3つもあるんだよ！

（小樽公園内歌碑）
小樽で最初の啄木歌碑。この「ここ」がなまはな小樽の町。この「停車場」の歌は、啄木が小樽にやってくる一歩手前で行ったこと。人だかりの中で一歩も進めないのが、さびしい。啄木の代表歌の一つ！

（水天宮境内歌碑）
この「ここ」がなまはな小樽の町。この「停車場」の歌は、啄木が小樽にやってくる一歩手前で行ったこと。人だかりの中で一歩も進めないのが、さびしい。啄木の代表歌の一つ！

（小樽駅 三島町歌碑）
この「ここ」がなまはな小樽の町。この「停車場」の歌は、啄木が小樽にやってくる一歩手前で行ったこと。人だかりの中で一歩も進めないのが、さびしい。啄木の代表歌の一つ！

どうしてそんなにあるの？

啄木は明治時代の、もっとも有名な素朴な歌人だからさ。

「文学館」では、啄木の気持ちや歌のイメージの分かりやすさに着目しながら鑑賞しましょう。

上が、それぞれの歌碑にきざまれた短歌なんだよ。啄木は小樽にどんなイメージを持っていたのかな？

のようなイメージ

上の短歌の中でイメージが表れている部分に○をつけよう！

啄木が小樽でどんな日々をすごしたのか、文学館で調べてみてね！

文学館には、彼が住んだ時代の小樽の写真や、彼が小樽で交流した人物の資料が展示されています。

15-16頁
小林多喜二×プロレタリア文学



旭展望台は中央バス「緑3丁目」から徒歩30分程度。周辺にはハイキングを楽しめる遊歩道がある他、小田観堂歌碑もあります。

銅版には、夢野二が書いた平紙文の一部がはめ込まれているよ。

本みたいな形だね。これも記念碑？

これは小林多喜二の文学碑だよ。
小樽の旭展望台という高台の上にあるんだ。

作家
小林多喜二
1903—1945年
昭和12年生まれ、福岡県
筑前守口市出身。戦時体制下の文壇に、

多喜二が労働者のための文学を書き始めたのは、北海道拓殖銀行小樽支店に勤めていた20代の頃。初期の代表作「一九二八年三月十五日」「蟹工船」「不在地主」などは小樽で書かれたものだったんだよ。



これを書いたとき、多喜二は刑務所の中だったんだ。彼がどんな文学を書いたのか、そして彼の人生に何がおこったのかについては、文学館に資料があるよ。

昭和4年(1929)26歳で北海道拓殖銀行を解雇された多喜二は、翌年上京し、プロレタリア文学運動の旗手として中心的に活躍します。しかし、その活動がもとで検挙・投獄されると、もはや帰ることが難しくなった故郷は彼にとって改めてかけがえない懐かしい土地と意識されるようになりました。

小樽文学館では多喜二の少年時代・青年時代の資料や小説の初出発表雑誌、初版本、デスマスクなどが展示されています。

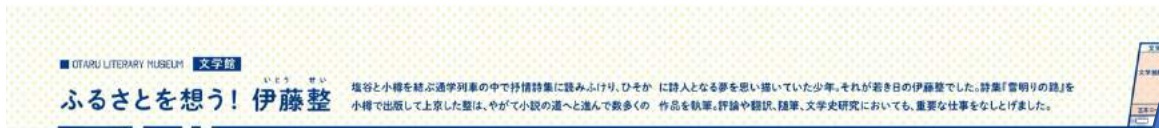
17-18頁
伊藤整×近代抒情詩

「海の捨児」は伊藤整の第二詩集『冬夜』(昭和12年/1937年)に収録されています。ちなみに、彼の第一詩集は『雪明かりの路』(昭和元年/1926年)で、小樽の冬季イベントのタイトルの元になっています。

昭和初期の詩人の多くが一風変わったモダニズム詩の方向を目指す中、伊藤整は明治大正時代の抒情精神を守り抜き、そのご小説家へと転身しました。

この詩では、詩の言葉のイメージが彼のどんな心情を象徴しているのかを考えるのが読みのポイントです。

小樽文学館では、常設展コーナーに伊藤整の生涯に渡る数多くの資料を時々入れ替えながら展示しています。



ゴロダの丘は中央バス「塩谷本通」から徒歩10分程度。中村善策の絵のモチーフになった塩谷のポンマイ岬も臨むことができます。

ながめの良いところだね!向こうに海も見えるんだ。

伊藤塾の碑のある丘さ。
小樽の西の塩谷という場所にあるんだ。



伊藤整は、生まれた翌年から上京する23歳頃までを塩谷で過ごしたんだ。この碑は、旧友たちが整との思い出をしのぶために〈ゴロダの丘〉というところに建てたものだよ。

さがして、行ってみたいな。



これは壁が、故郷・小樽をはなれ、
東京で詩人になろうと決心した頃に書かれた詩だよ。
壁は小樽にどんなイメージを持っていたのかな？

むずかしいけど、不思議なイメージの詩だね。

伊藤聖は、文学の世界で重要な仕事をたくさんしたんだよ。
文学館の展示で、確かめてみようね。

お疲れ様でした

この本に関するお問い合わせ

市立小樽美術館・市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号

電話(美) 0134-34-0035 電話(文)/ファクス 0134-32-2388 メール bungaku-kan@city.otaru.lg.jp

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日、祝日の翌日(ただし土・日・祝の場合は休まず振替)、年末年始(12月29日～1月3日)

※展示替えなどで臨時休館する場合もございます。

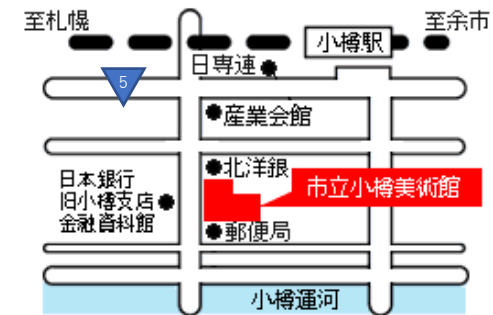
アクセス

◇JR小樽駅から徒歩でおよそ10分

(国道5号線を札幌方向へ進み、産業会館の交差点を運河方向へ左折。手宮線跡地及び日銀金融資料館の近くです)

◇中央バス「本局前」バス停から徒歩でおよそ2分

◇無料駐車場(約20台)が利用できます。駐車場は施設の運河側にございます。



☆学校利用の場合は教員の方は無料になります。

☆事前見学も無料になりますので、事前にお問い合わせください。

☆学校での利用についてのお問い合わせは上記電話番号かメールアドレスにお願いします。